

ミニ企画展 6

# 都から運ばれた土器 —茨城廃寺跡周辺の遺跡

会場 石岡市民俗資料館 1階（石岡市総社 1-2-10）

日時 平成26年 7月12日 ▶ 9月28日 ※土・日・祝日のみ開館  
午前9時～午後4時半

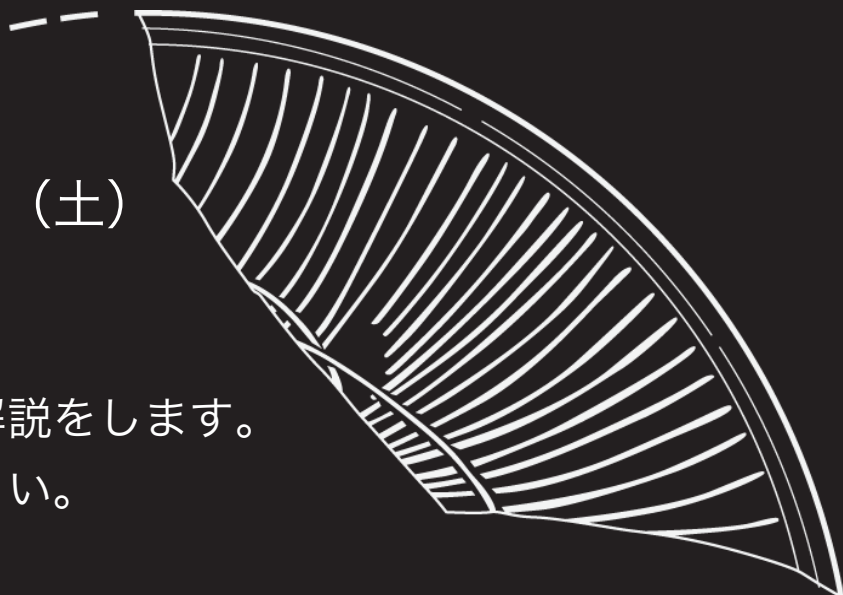
入館無料

展示解説 7月12日（土）

午前10時半～11時

教育委員会職員が展示の解説をします。  
直接会場にお集まりください。

問い合わせ 石岡市教育委員会 文化振興課  
Tel 0299-43-1111（内線 1233）



税所屋敷遺跡（旧 茨木遺跡）畿内産土師器

昭和58年、茨城一丁目のスーパー建設に伴い、発掘調査が行われました。「茨木遺跡（現在は税所屋敷遺跡）」と名付けられた遺跡からは、奈良・平安時代の竪穴住居跡2軒などが発掘されました。

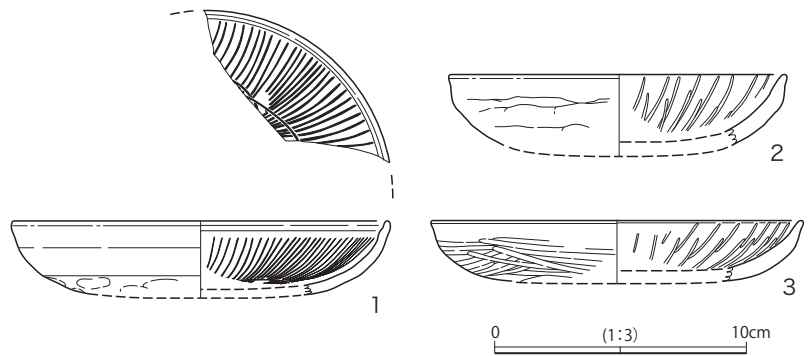
近年、出土資料の再調査を行ったところ、奈良時代の住居跡（2号住居）から、奈良の都でつくられた「畿内産土師器（きないさんばじぎ）」が出土していることが判明しました。

畿内産土師器は、篋（へら）のような道具で丁寧に磨き、特に内面には「暗文」と呼ばれる文様を放射状に施し、金属器の光沢や質感を再現しようとしています。

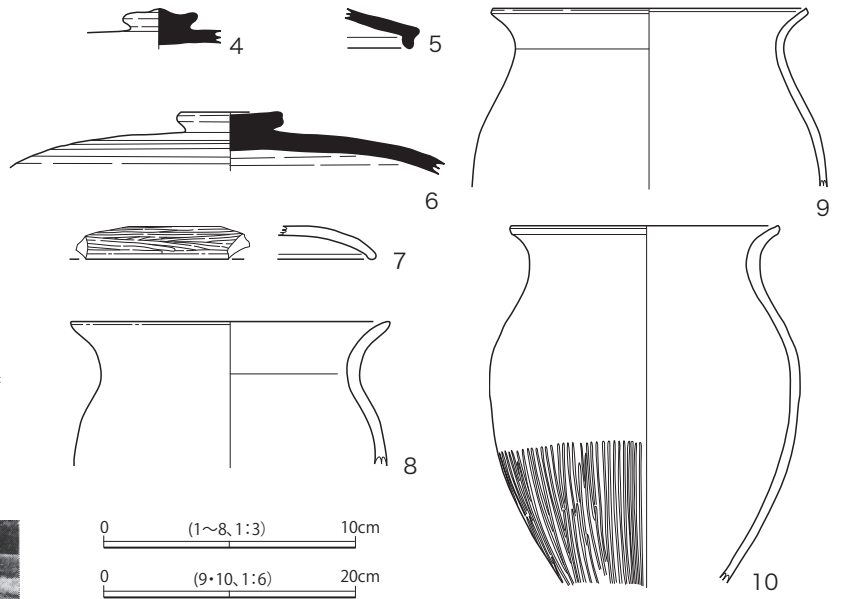
出土しているのは、今のところ、石岡市では2遺跡だけ。また、茨城県内でも石岡市と鹿嶋市に限られている稀少なもので、都との関係を示すものと考えられます。

年代は8世紀はじめと考えられ、近在する茨城郡寺「茨城廃寺跡」の時期と合致します。茨城廃寺跡の造営にあたっての状況を具体的に示す資料と言えます。

なお、昭和58年の発掘調査にあたっては、事業者の方に全面的なご協力をいただきました。30年以上の時を経ての新たな成果の発見となりましたが、改めて感謝申し上げます。



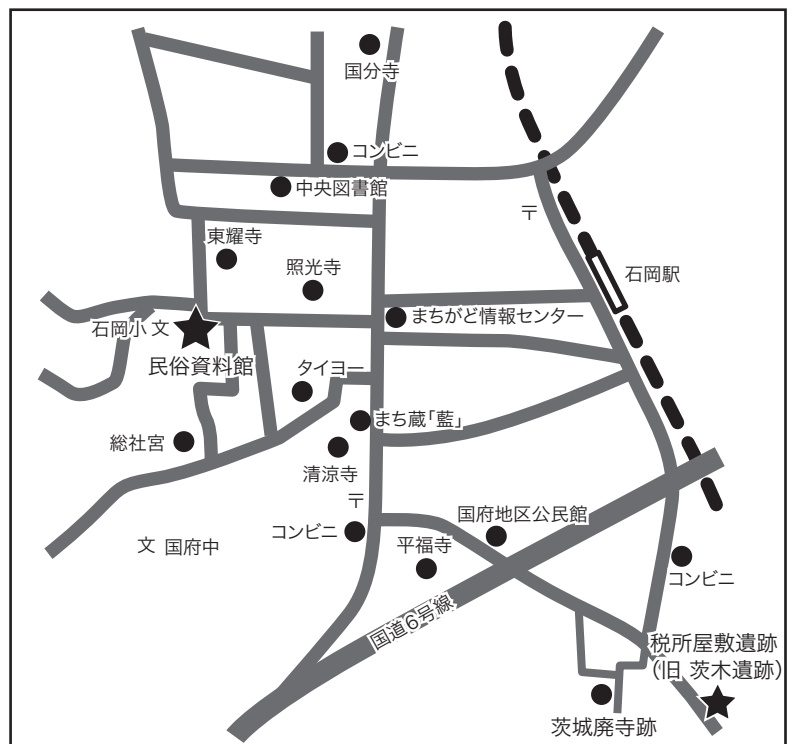
畿内産土師器（左）とそれを模倣した土器（右）



税所屋敷遺跡（旧 茨木遺跡）出土土器



発掘調査風景



<写真・図面出典>

『茨木遺跡地内（山内ストアー建設予定地）発掘調査報告書』1984、石岡市教育委員会

高橋透「茨木遺跡2号住居出土の暗文土師器について」『市内遺跡調査報告書 第9集』2014、石岡市教育委員会